

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	日本赤十字社長野県支部					
代表者名	氏名	阿部 守一	役職名	支部長		
主たる事務所の所在地	長野県長野市南県町1074					
主たる事業の分類	大分類	P 医療、福祉				
	中分類	83 医療業				
主たる事業の概要	赤十字事業の普及・推進					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	9,444	9,496	9,313	9,080	9,004
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	20,611	20,815	20,324	19,502	19,311
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	43		0	0	0
自動車の台数	台	163		163	163	154
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	374				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度	計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
報告対象年度	平成 31 年度		

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	http://www.naganojrc.or.jp
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

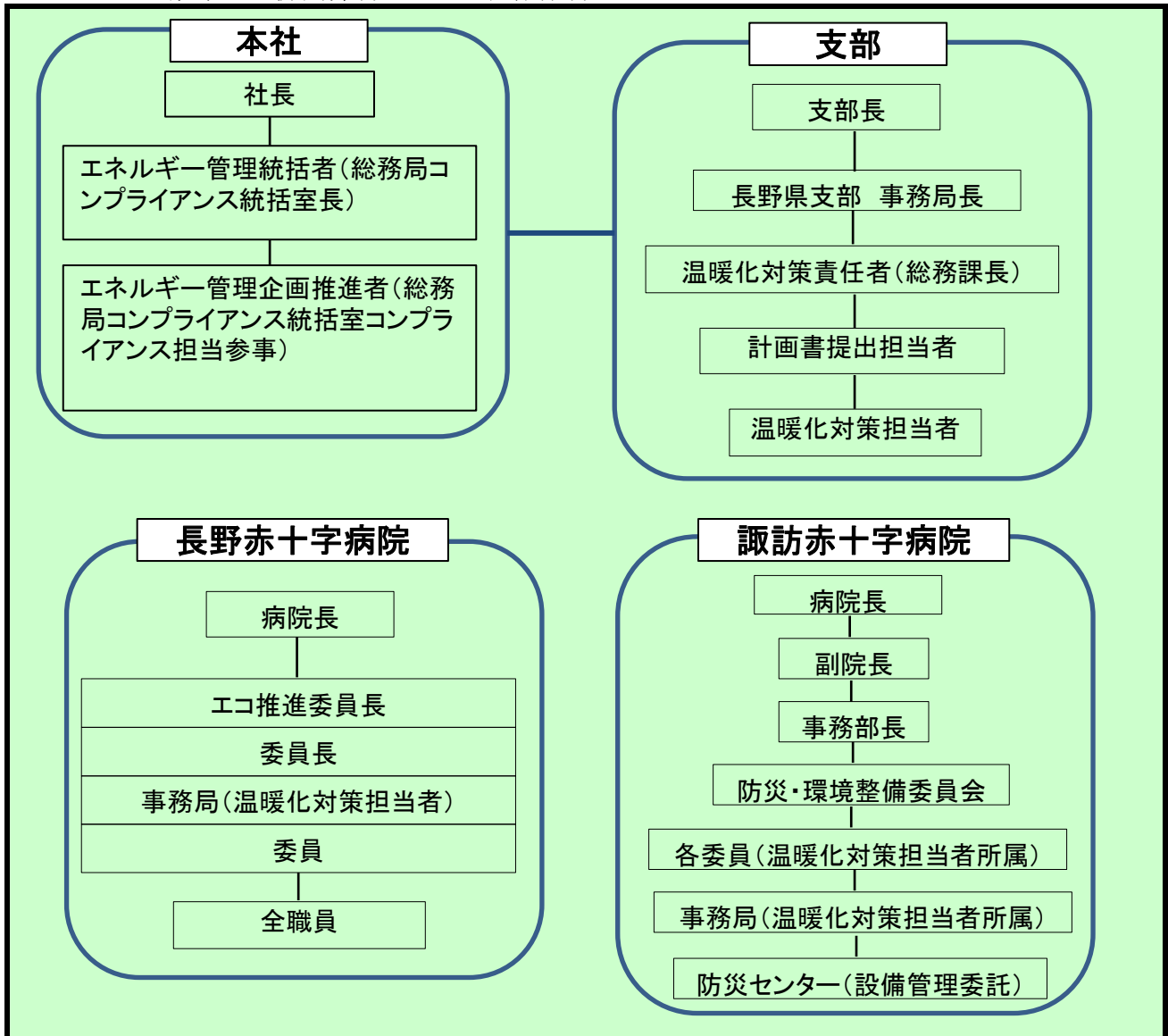
全職員が常に環境配慮の視点を持って仕事に取り組み、率先して温室効果ガスの削減や環境負担低減に向けた行動を実践することにより、低炭素社会及び持続可能な社会の実現に貢献する。(支部)

長野県温暖化対策病院協議会が定めている目標(下段に記載のとおり)を達成するため、当院のエネルギー消費量を把握し節約に努める。

【目標】2017(平成29)年度を基準として、2018(平成30)年度から2022(令和3)年度まで、原単位(延べ床面積)当たりの原油換算エネルギー使用量を年率平均1%以上削減する。(長野日赤)

医療活動における、病める人が心身ともに癒される医療と環境を損なわない範囲に於いて、温室効果ガスの排出量を常に考慮し削減に努める。(諏訪日赤)

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

職員会議 月1回 (支部)
エコ推進委員会 (年1回以上開催/H31年度は1回開催) (長野日赤)
防災・環境整備委員会 隔月開催 (諏訪日赤)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	20,611	t-CO ₂	延床面積	148.81	単位	千㎡	
28年度	調整後排出量	20,581	t-CO ₂	基準原単位	138.50	t-CO ₂ /	千㎡	
目標年度	目標排出量	20,815	t-CO ₂	目標原単位	134.66	t-CO ₂ /	千㎡	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
31年度	目標削減率	(0.99)	%	目標削減率	2.77	%		
目標設定に関する説明	<p>毎平均1%減の抑制目標を達成できる様、空調や照明などの適正使用等の取り組みを全職員で進めていく。(支部)</p> <p>3年間で3.0%の抑制目標を達成する。(長野日赤)</p> <p>平成29年度末に管理棟増築工事が完了する。延床面積の増加によるCO2排出量増加は試算が困難だが確実に増加となる。また、蒸気・冷水をDHCにて供給を受けていたが、管理棟1階にエネルギーセンターを設置し熱源設備を自前で持つことで試算上約600t-CO2の増加となる。これらの要因により今後CO2排出量増加は避けられないが、建築延床面積を原単位の指標とした数値において2.69%の削減を目標とし今後の排出量抑制を推進する。(諏訪日赤)</p> <p>3年間で3%の削減目標を達成擦るとともに、ピークカット及び空調の外気導入調整の取り組みを進めていく。(安曇野日赤)</p> <p>冷温水発生機を更新したことや厨房機器を省エネ機器へ更新するほか、院内照明機器のLED化を促進し、削減率の達成に努める。(飯山日赤)</p> <p>適正な温度管理及びLED照明器具設置による温室効果ガスの抑制を図る。(下伊那日赤)</p> <p>燃料、電力とも削減を促すハード面の整備が整わないため、削減目標は平成29年度から31年度までの3か年で平成28年度より削減率2%とする。(川西日赤)</p>							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	20,324	t-CO ₂	延床面積	153.52	単位	千㎡	
	調整後排出量	20,204	t-CO ₂	原単位	132.39	t-CO ₂ /	千㎡	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
29年度	削減率	1.39	%	削減率	4.41	%		
排出量等の増減理由	<p>夏季(7月から10月)の電気照明及びガス空調等の適正使用を意識した結果、電気及びガスの使用量削減が図られた。(支部)</p> <p>外気温の低下に伴う空調設備の稼働減、受電設備法定定期点検等の影響により、電気使用量が前年度に比し▲148,186kWhとなったため温室効果ガス排出量は前年度に対して削減されたと思料される。(長野日赤)</p> <p>平成30年2月末に管理棟が増築し延床面積が増加、エネルギー使用量は試運転調整分が微増した。この為排出量は微増となったが建築延床面積を原単位の指標とした数値においては、10.03%の削減となった。(諏訪日赤)</p> <p>気候の変動もあったが、省エネ意識づけと空調機器等のスケジュール運転をし若干ではあるが削減目標値に近づけることができた。最終目標設定値に向け更なる省エネを進める(計画中 照明器具のLED化に徐々に進めていく)。(安曇野日赤)</p> <p>中央材料室及び栄養課厨房機器等の更新に伴う電力変更(A重油→電気)(飯山日赤)</p> <p>廊下や事務室の電気を小まめに切ることにより、電気使用量を削減。(川西日赤)</p>							
第二年度	排出量	19,502	t-CO ₂	延床面積	153.52	単位	千㎡	
	調整後排出量	19,396	t-CO ₂	原単位	127.04	t-CO ₂ /	千㎡	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
30年度	削減率	5.38	%	削減率	8.27	%		
排出量等の増減理由	<p>29年度は、夏場における電気照明及びガス空調等の適正使用を意識したが、年間を通じて意識付けを行った結果、電気量の削減が図られた。(支部)</p> <p>空調設備・医療機器増設等の影響により、電気使用量が前年度に比し+54,548kWhとなったことが要因となり温室効果ガス排出量は前年度に対して増加したと思料される。また第二年度報告書において、第一年度の排出量等を修正した(長野日赤)</p> <p>平成29年度で購入していた蒸気・冷水の熱量が、都市ガスや電気と切替ったことにより削減となった。(諏訪日赤)</p> <p>前年度よりも二酸化炭素の排出量は削減することができた。電気・LPGの使用量は年間通じて微増となったが、4月・5月又11月～3月の暖房時期の灯油消費量が少なかったのが一番のエネルギー使用量削減の要因と思われる。(積雪が少なく暖冬だった)又、1階の玄関・風除室・待合ホールの外調機の運転時間を短くし、補助用ブルーヒーターの設置にて運用した。最終設定目標値に向け更なる省エネを進める。(安曇野日赤)</p> <p>厨房機器の電化に伴う化石燃料使用量の減少及び院内照明器具のLED化が進んだため。(飯山日赤)</p> <p>空調設備を蒸気ボイラーからGHPに替えたことにより、エネルギー使用量を削減。廊下や事務室の電気を小まめに切ることにより、電気使用量を削減。(川西)</p> <p>猛暑による夏場の電力消費増による増加(血液C)</p>							
第三年度	排出量	19,311	t-CO ₂	延床面積	153.52	単位	千㎡	
	調整後排出量	19,181	t-CO ₂	原単位	125.79	t-CO ₂ /	千㎡	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
31年度	削減率	6.30	%	削減率	9.17	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<p>夏場における電気照明及びガス空調等の適正使用を意識したが、年間を通じて意識付けを行った結果、電気量の削減が図られた。(支部)</p> <p>目標が達成できなかった原因は、温暖化に伴う空調機の稼働増と医療機器整備に伴う電気使用量の増によるものと推測される。(長野日赤)</p> <p>最大の削減要因は平成30年度の蒸気・冷水熱量が都市ガス・電気と代わったことと、また、順次実施している一般蛍光ランプから高効率LEDへの照明器具入れ替え(平成31年度は器具台数155台、削減電気量:16,500kWh/Y)も排出量削減に寄与した。(諏訪日赤)</p> <p>今年度は、コロナウィルスの影響もあり、1月頃より病棟閉鎖や外来患者等の減少が見られ、エネルギー使用量も比例し減少したと思われる。運用では計画したものを実行してきたが、使用量は昨年度とほぼ同様で微減で推移した。最終的には基準年度に設定した目標値の3%削減をクリアすることができた。(安曇野日赤)</p> <p>厨房機器の電化及び空調機器の更新に伴い化石燃料使用量が減少した。また、院内照明器具のLED化を促進した。(飯山日赤)</p> <p>暖房の燃料を灯油からガスに変更したため、原油換算エネルギー使用量が減少した。(下伊那日赤)</p> <p>空調設備を蒸気ボイラーからGHPに替えたことにより、エネルギー使用量を削減。廊下や事務室の電気を小まめに切ることにより、電気使用量を削減。(川西日赤)</p> <p>血液製剤の定期配送率の向上、大型移動採血車両の配車台数の減少による自動車使用燃料の減少。省エネ意識の向上による電力使用の抑制。(血液C)</p>							

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	43	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率	100.00	%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率	100.00	%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率	100.00	%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	374	t-CO ₂			
28年度						
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	110201 定期点検・清掃の実施	29～31	2	29～31	2
2	エネ起	120202 冷温水出口温度設定	29～31	5	29～31	
3	エネ起	130101 設定温度、湿度の適正化	29～31	10.5	29～31	0.5
4	エネ起	130102 外気導入量の制御	29～31	11	29～31	
5	エネ起	150105 デマンド管理	29～31	7	29～31	2
6	エネ起	150201 照明器具及びランプの適正な選択	29～31	463	29～31	79.4
7	エネ起	150202 自動調光による減光・消灯	29～31	451	29～31	
8	エネ起	150204 適正照度の管理	29～31	54	29～31	
9	エネ起	150301 待機消費電力の削減	29～31	4	29～31	4
10	エネ起	150302 自動販売機のスケジュール管理	29～31	5	29～31	2

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
フリークーリング	tCO ₂	23.7	0	23.7	23.7	23.7
太陽光発電	kw	19.24	0	19.24	812.24	30.79

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂	3	9	3	3	3
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	27		117	103	127
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	130105 運転時間、ファン動力の軽減対策			29～31	0.5
2	エネ起	140303 省エネ型ショーケースへの更新			29～31	3
3	エネ起	150205 センサー、スイッチの細分化			30～31	1
4	エネ起	150303 電力削減			30～31	1
5	エネ起	330299 空気調和設備、換気設備に係るその他の削減対策			31	28
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂					
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	2	13,508	2	13,557	1	6,975	1	7,017
1,500k1以上 3,000k1未満	0	0	0	0	1	5,976	1	5,899
1,500k1未満	7	7,103	7	6,767	7	6,551	7	6,395
合計	9	20,611	9	20,324	9	19,502	9	19,311

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	43.054	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
NF ₃	0	0	0	0
合計	43.054	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	
電気自動車	1	1	1	1
燃料電池自動車	0	0	0	
クリーンディーゼル自動車	0	0	1	1
その他 (ハイブリッド等)	0	2	3	4
合計	1	3	5	6
自動車総数	163	163	163	162
次世代車導入割合	0.6	1.8	3.1	3.7

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特に無し
その他	特に無し

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	毎年県下一斉ノーマイカー通勤ウィークに参加している。(全施設) 片道2km未満通勤者の自動車通勤禁止。(諏訪日赤)
公共交通機関の利用促進	病院敷地内に路線バス・タクシー等の停留所を設置している。(長野日赤、諏訪日赤、飯山日赤、下伊那日赤) 長野地区バス共通ICカードチャージ機を院内に設置している。(長野日赤) バス・タクシーの待機所の設置、バス・電車の時刻表の設置(諏訪日赤)
来客者の交通対策	駐車場が混雑する時間帯を中心に駐車場案内係を配置している。(長野日赤) 一般車両の一時乗降場所の設置(諏訪日赤) 市で運用しているデマンド交通利用の呼びかけ(安曇野日赤)
物流の合理化	配送委託システムを導入し、配送頻度の最小化を図っている。(長野日赤) 納品業者と一般車両の導線分別(諏訪日赤)

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	ゴミ分別の徹底。コピー用紙の裏紙利用を喚起。節水を喚起。(支部) 病院敷地内緑化、クールアースデーライトダウン活動への参加 リサイクル用品の使用(コピー用紙、廃棄物用段ボール・ペール缶) 空調機等の設定温度に関するポスターの作製・掲示(長野日赤) 調理残渣の堆肥化(日赤エコ太郎)。研修医の記念植樹(毎年)(諏訪日赤) グリーンカーテンの実施。井水利用散水。日よけカーテン・葎資の設置。(安曇野日赤) ゴミの分別収集(飯山日赤、下伊那日赤)
第一年度実績	ゴミ分別の徹底。コピー用紙の裏紙利用を喚起。節水を喚起。(支部) 病院敷地内緑化、クールアースデーライトダウン活動への参加 リサイクル用品の使用(コピー用紙、廃棄物用段ボール・ペール缶) 空調機等の設定温度に関するポスターの作製・掲示(長野日赤) 調理残渣の堆肥化(日赤エコ太郎)。研修医の記念植樹(毎年)(諏訪日赤) ゴミの分別収集(飯山日赤、下伊那日赤)
第二年度実績	ゴミ分別の徹底。コピー用紙の裏紙利用を喚起。節水を喚起。(支部) 病院敷地内緑化、ライトダウン活動への参加、エコカー減税対象車への4台更新(長野日赤) リサイクル用品の使用(コピー用紙、廃棄物用段ボール・ペール缶)(長野日赤) 空調設定温度に関するポスターの作製掲示。紙ごみの資源化(長野日赤) びん、缶、ペットボトルの資源化のための分別の周知(長野日赤) 調理残渣の堆肥化(日赤エコ太郎)、研修医の記念植樹(毎年)(諏訪日赤) 玄関・風除室・待合ホール外調機の運転時間を短縮(安曇野日赤) ゴミの分別収集による排出量の抑制(飯山日赤、下伊那日赤)
第三年度実績	ゴミ分別の徹底。コピー用紙の裏紙利用を喚起。節水を喚起。(支部) 病院敷地内緑化、ライトダウン活動への参加、リサイクル用品の使用(コピー用紙、廃棄物用段ボール・ペール缶) 空調設定温度に関するポスターの作製掲示。紙ごみの資源化。(長野日赤) 調理残渣の堆肥化(日赤エコ太郎)、研修医の記念植樹(毎年)(諏訪日赤) 玄関・風除室・待合ホール外調機の運転時間を短縮(安曇野日赤) ゴミの分別収集による排出量の抑制(飯山日赤、下伊那日赤)

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	温水ポンプ吐出バルブ調整、院内各所のファンコイルの更新、病棟・外来エリア等の段階的なLED化、透析室遮光フィルム、非常灯の高輝度タイプへの更新(長野日赤)	2
その他	照明器具の見直し(数年かけて徐々にLED化に変更計画継続中)(安曇野日赤)	不明